

《担当者名》 池森 康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp 志水 朱 高橋 由紀 下山 美由紀

【概要】

地域における様々な場において、対象者の生活を理解し、本人や家族とのコミュニケーションや生活支援を行う基礎的な能力を習得する学習とする。

【学修目標】

1. 介護福祉士に求められる役割と機能を理解し、専門職としての態度を養う。
2. 介護を実践する対象、場によらず、様々な場面に必要とされる介護の基礎的な知識・技術を習得する。
3. 本人、家族等との関係性の構築やチームケアを実践するための、コミュニケーションの基礎的な知識・技術を習得する。
4. 介護実践における安全を管理するための基礎的な知識・技術を習得する。
5. 各領域で学んだ知識と技術を統合し、介護実践に必要な観察力・判断力及び思考力を養う。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1週	様々な生活の場における個々の生活リズムや個性を理解したうえで、個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、基礎的な介護技術を実践する。 多職種協働や関係機関との連携を通じたチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。	施設の特徴、利用者の特徴、職員の職種、施設構造の特徴、日課、週間スケジュール、年間行事などについて把握する。 基本的な援助をしながらコミュニケーションのとり方などの基本的な介護技術を実践する。 個々の在宅での生活を知るとともに、家族の関わりや、家族支援について理解することができる。 記録の機能と目的について理解し、利用者の間雑や関わりをもとに記録し、報告することができる。 (通所介護 5日間：40時間) (訪問介護 1日間：5時間)	池森、志水朱、高橋、下山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

実習評価表30%、実習の記録、カンファレンス、課題・計画など70%とし、これらの項目を総合し評価する。

【教科書】

特に使用しない

【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会（編）：最新・介護福祉士養成講座10『介護総合演習・介護実習』中央法規 2019

【備考】

この科目は介護福祉士国家試験受験資格取得のための領域「介護」の教育内容「介護実習」に該当する。

【学修の準備】

- 介護総合演習 で立案した実習目標の課題を達成できるよう各自の課題に沿った学習を進めること（60分）
- 介護概論の教科書を事前に読んでおくこと（30分）
- 生活支援技術論の教科書を事前に読んでおくこと（30分）
- 実習に必要な技術を介護実習室で確認をすること（60分）

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1,3,4

【実務経験】

池森 康裕（介護福祉士・社会福祉士）、志水 朱（社会福祉士・精神保健福祉士・介護福祉士）、下山 美由紀（看護師）、高橋 由紀（介護福祉士）

【実務経験を活かした教育内容】

臨床および地域での介護・看護分野の専門職としての実務経験を活かし、実践的教育を行う。